

(別紙4(2))

事業所名 ポピーの家

作成日: 平成 25年 5月 22日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	車椅子を使用されている利用者で、不穏行動が多く転倒の危険性が高い方に固定の安全ベルトをつけていただいている。該当者は1名、ご家族は了承済み	身体拘束をしないケアを介護計画の中で検討し随時見直していく。	スタッフ会議などで、安全ベルトを外す事はできないかの話し合いを進める。管理者はより安全で快適な介護用品を検討する。担当者会議の時に、ご家族とその都度状況説明をし、安全確保のため継続が必要な場合は書面にて委任状の提出をお願いする。	3ヶ月
2	35	災害時における定期的な避難訓練を年2回、消防署の立会いのもとに行っている。地域住民への参加呼びかけは毎回行っているが、参加は地域の高齢化・過疎化もあり、ほとんど無いのが現状である。	自主訓練の増加と地域住民の訓練への参加依頼を続ける。	月1回のスタッフ会議の前などを使い、自主訓練を行う。また、レクリエーションとして避難時の移動を取り入れ、習慣づけを行う。また、地域住民の訓練時の呼びかけは回覧板・チラシだけでなく、実際に何度か声かけして、参加を促してみる。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。